

(陳受 6 第11号)	
ごみ減量と資源化に努める市民を励ます環境政策を求める陳情	
受理年月日	令和 6 年 8 月 28 日
陳 情 者	吉祥寺東町 武蔵野生活クラブ運動グループ地域協議会 代表 市橋 綾子
陳 情 の 要 旨	
私は、20年来マイバッグ・マイボトルを持参して生活しています。ペットボトル入りの飲料・調味料を買わない生活をしているので、5年前に収集が隔週になっても全く影響はありませんでした。ペットボトルを手にするのは、マイボトルの水を飲み切り、周りに給水施設がない場合に仕方なく自販機の飲料を買うときぐらいです。会合で主催者から熱中症対策としてペットボトル入りの飲料が提供されても、マイボトルを持っているので頂きません。 プラスチックやペットボトルの収集・運搬は、かさがある割には軽く、収集車は空気を運んでいるようなもので、ここに市民の税金が多く充てられていると聞いています。マイボトルで飲物を持参することは、環境にもいいし、税金は節約できるし、市民としてもSDGsの12番「つくる責任つかう責任」を実行し、CO₂削減に寄与していることを誇りに思ってきました。 昨年末の市長選公約で「ペットボトル毎週に」を読み、なぜなのかと疑問に感じていました。7月に入って、市長公約に沿った議論がされていると聞き、市がゼロカーボンシティ宣言を行い、市民に向けてごみ減量と資源化を熱心に呼びかけてきたことに応え、地球資源を今の時代を生きる者が使い果たしてはいけない「大事なことだ」と思って協力してきた私は、気持ちを逆なでされたように感じました。 先日全戸配布された「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」には36項目の環境配慮型行動が書かれています。気候市民会議での意見をまとめたと聞いています。私自身、全部はできていませんが、住宅断熱リフォームを行うなど20項目以上ずっと続けて取り組んでいます。 ペットボトルをたくさん使う人と、私のようにほとんど使わない人が、ひとしく税金で収集費用を負担するのも、昔から不公平だと感じてきました。ペットボトルをたくさん使う人は、「お店に戻す」ことを原則にしてほしいです。スーパーやコンビニの店頭回収をもっと増やして、市民に働きかけてほしいです。 以上のことから、武蔵野市に対し、ごみ減量と資源化に努めてきた武蔵野市民ががっかりすることのないよう、ペットボトル収集頻度見直しについて慎重に検討することを求め、陳情いたします。	